

## アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

数理・計算科学系では、次のような人材を求めます。

- ・情報理工学の研究対象に強い探求心を持ち、自律的に問題解決に取り組める人
- ・様々な現象に潜む数理的構造をモデリングして理解しようとする人
- ・情報理工学の理論的・数学的な問題解決に必要な専門学力を十分に有する人

## アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

学位論文 (またはこれに代わる研究業績) による研究能力に関わる試問, 数理・計算科学系の専門に関する学力, 英語による語学力などについて, 口頭試問などにより, 数理・計算科学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

## カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- 諸問題に現れる数学的構造の探求と計算機援用を駆使する数学研究アプローチの深化と展開
- 情報化社会に関わる様々な問題に対する高度な数理モデル化とその実際的で効率的な処理法の構築
- 数理論理学, アルゴリズム, 計算理論, 計算機アーキテクチャ, ソフトウェアシステムの構築など, 計算機科学理論の深化と展開
- 広い視野を養い, 主体的に進める学修:  
指導教員との議論や国内外の研究者との交流を通して, 主体的に研究を深化させ, また新しい研究プロジェクトの創始に取り組む力をつける学修
- コミュニケーション能力の強化学修:  
論文作成に要求される文書化力と, 国内外の研究者との交流や研究発表を通じた発表力の養成学修

## ディグリー・ポリシー（修得する力）

数理・計算科学コースでは、次のような力を修得することができる。

- 数理科学および計算機科学分野の専門家としての高度な見識と広範な体系的知識
- 研究テーマを持続的に深化，展開できる柔軟で多様な発想と探究心および独創性
- 新しい研究テーマを開拓し，推進していく創造性
- 研究を通じて情報化社会の抱える諸問題の解決法を提案するチャレンジ精神と社会的貢献を目指す高い職業的倫理観
- 論文，学会発表，様々なコンテスト参加等の形で自らの研究成果を積極的に公開するとともに，その内容を説得力をもって主張できる論文執筆能力およびプレゼンテーション能力